

# ナラティブで編まれる 地域交通コミュニティ形成と 人材育成プログラムの研究開発 の概要紹介

提案代表者：筑波大学  
教授 谷口綾子

# 本日の発表内容

1. 研究開発の概要
2. 研究開発項目別の受託者間連携アイデア
3. 実施体制
4. 国際連携の可能性

# ナラティブ(物語／Story)?

ギリシャローマ神話

古事記

旧約聖書

新約聖書

浦島太郎

プロジェクトX(NHK)

オリンピックを運べ  
東京オリパラ運輸部門担当者の物語

かしてつバス物語  
鹿島鉄道跡地をBRTにした物語



Scale大

民族の神話

地域の昔話

Projectの物語

Scale小

ナラティブの共有が紐帯を強化する

# 数値データとともに、地域モビリティを取り巻く ナラティブの抽出・蓄積・共有を

- 日本の地域公共交通の現状は閉塞感を禁じ得ず、大きな社会システム改革が必要であることは論を俟たない。ここで、ホワイト・エプストンは精神科を受診する**患者を支配している一般的な物語を「ドミナント・ストーリー(思い込みの物語り)」**と呼んだ。
- しかしこれを「物語」と捉えるなら、**覆すことができる**とエプストンはいうのである。ナラティブ・アプローチは、**苦しみの源泉となっているドミナント・ストーリー(思い込みの物語り)**に支配され硬直化した心理状態を探りながら、**「オルタナティブ・ストーリー(代替の物語り)」**つまり「別の物語」を創生し、**発見することで心理状態の好転のきっかけを掴む**ことを目指すものである。ナラティブ・アプローチは、近年、医療・臨床心理やソーシャルワーク、キャリアコンサルティング、司法の場で活用されている。
- そこで、**地域公共交通のドミナント・ストーリーを「物語」として捉え直し、新技術の可能性も踏まえたオルタナティブ・ストーリーを模索することこそが、地域公共交通をより善くするためのコミュニティ形成の「きっかけ」となる**と、提案者らは考えた。これは本研究提案の根幹をなすコンセプトである。

# 数値データとともに、地域モビリティを取り巻く ナラティブの抽出・蓄積・共有を

- 日本の地域公共交通の現状は閉塞感を禁じ得ず、大きな社会システム改革が必要であることは論を俟たない。ここで、ホワイト・エプストンは精神科を受診する**患者を支配している一般的な物語を「ドミナント・ストーリー(思い込みの物語り)」**と呼んだ。  
森川先生のおっしゃる  
**マインドセット  
の転換**
- しかしこれを「物語」と捉えるなら、覆すことができる。ナラティブ・アプローチは、**苦しみの源泉となつてい**る。トリー(思い込みの物語り)に支配され硬直化した心理状態を脱しながら、**「オルタナティブ・ストーリー(代替の物語り)」**つまり「別な世界」を創生し、発見することで心理状態の好転のきっかけを掴むことを。ナラティブ・アプローチは、近年、医療・臨床心理やソーシャルワーク、キャリア開発などに使われている。  
**移動問題を  
自分ごととして捉える  
「マイモビリティ」  
意識の涵養**
- そこで、**地域公共交通のドミナント・ストーリー**から**新技術の可能性も踏まえたオルタナティブ・ストーリー**を抽出し、共有することこそが、**地域公共交通をより善くするためのコミュニティ形成の「きっかけ」となる**と、提案者らは考えた。これは本研究提案の根幹をなすコンセプトである。

# 研究開発項目の概要

研究開発項目：⑫⑬⑮⑱ 中心課題：⑮地域・モビリティ・ビジネス・データコミュニティ形成

## 【研究開発概要とスケジュール】

1年目

2年目

3年目

4年目

5年目

### 実証フィールド

主に地方部を対象

- ▶ 北海道当別町
  - ・1.6万人(札幌隣接)
  - ・観光ニーズ対応
- ▶ 青森県十和田市
  - ・6.7万人
  - ・観光ニーズ対応
- ▶ 広島県庄原市
  - ・3.5万人
  - ・生活ニーズ対応

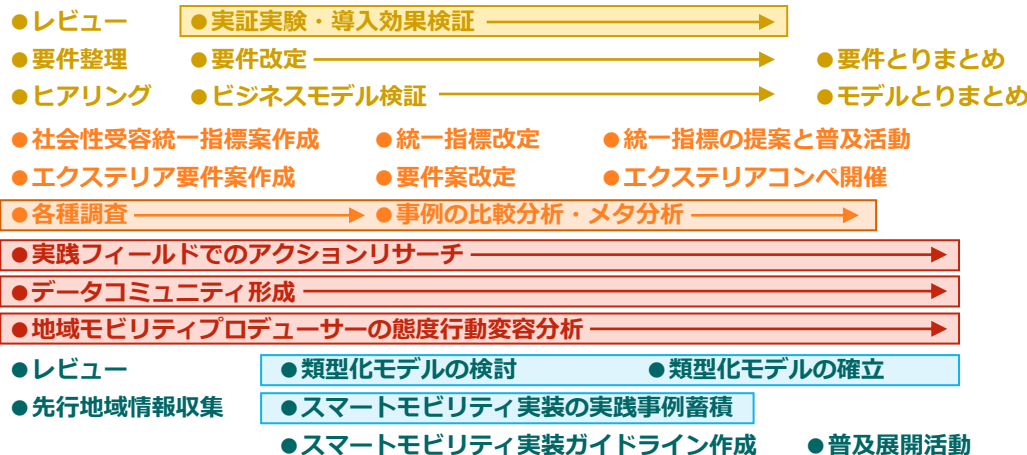
### フィールド実証・調査系項目

⑫ ▶ グリスロ自動運転実証と  
ビジネスモデル検討

⑬ ▶ 自動走行エクステリア要件  
の抽出/車両コンペ開催

⑮-2 ▶ 地域モビリティのあり方を  
考える地域コミュニティ構築

⑱ ▶ アクションリサーチによる  
地域類型化とガイドライン作成



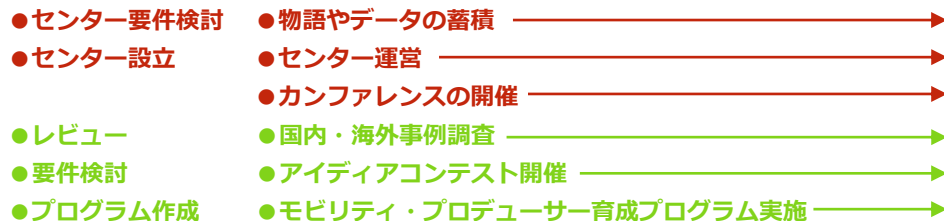
### データ蓄積 アーカイブ化



### スキーム検討・構築系項目

⑮-1 ▶ モビリティナレッジセンター  
の設立とカンファレンス開催

⑲ ▶ モビリティプロデューサーの  
要件検討・育成プログラム構築



## ナラティブアプローチ

地域のアクターとして懐に入り込み、  
外部からは見えないノウハウやプロセスを物語化し蓄積・活用する

# 研究開発項目の概要

研究開発項目：⑫⑬⑮⑱ 中心課題：⑮地域・モビリティ

グリスロの  
ビジネスモデル

自動運転  
社会的受容  
統一指標

自動運転バス  
エクステリア要件  
提案

各地域での  
コミュニティ形成と  
アクション・  
リサーチ

ガイドライン  
提案

モビリティ  
ナレッジセンター  
カンファレンス

モビリティ  
プロデューサー  
育成

## 【研究開発概要とスケジュール】

1年目

2年目

3年目

### 実証フィールド 主に地方部を対象

- ▶ 北海道当別町
  - ・1.6万人(札幌隣接)
  - ・観光ニーズ対応
- ▶ 青森県十和田市
  - ・6.7万人
  - ・観光ニーズ対応
- ▶ 広島県庄原市
  - ・3.5万人
  - ・生活ニーズ対応

### フィールド実証・調査系項目

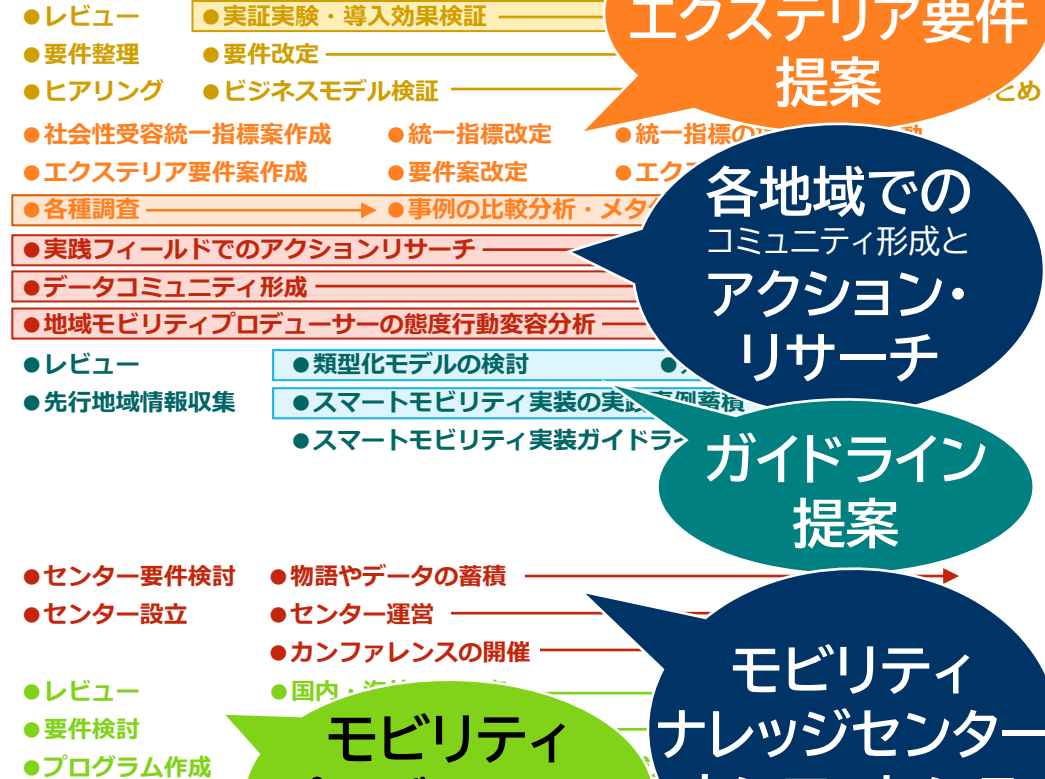
- ⑫ ▶ グリスロ自動運転実証と  
ビジネスモデル検討
- ⑬ ▶ 自動走行エクステリア要件  
の抽出/車両コンペ開催
- ⑮-2 ▶ 地域モビリティのあり方を  
考える地域コミュニティ構築
- ⑱ ▶ アクションリサーチによる  
地域類型化とガイドライン作成

### スキーム検討・構築系項目

- ⑮-1 ▶ モビリティナレッジセンター  
の設立とカンファレンス開催
- ⑲ ▶ モビリティプロデューサーの  
要件検討・育成プログラム構築

### ナラティブアプローチ

データ蓄積  
アーカイブ化



地域のアクターとして... 外部からは見えないノウハウやプロセスを物語化し蓄積・活用する



# 研究開発項目の概要

研究開発項目：⑫⑬⑮⑱⑲ 中心課題：⑮地域・モビリティ

グリスロの  
ビジネスモデル

自動運転  
社会的受容  
統一指標

## 【研究開発概要とスケジュール】

1年目

2年目

3年目

本プロジェクト、既存事例の活動に関する  
**関係者の想いやエピソード**を  
さまざまなステークホルダーから収集し、  
**物語を編む。**

その物語をモビリティ・ナレッジセンターに蓄積し、  
**地域内外の多くの人々(子ども・関係者)と共有する**

自動運転バス  
オーストラリア要件  
提案

各地域での  
コミュニティ形成と  
アクション・  
リサーチ

ガイドライン  
提案

モビリティ  
ナレッジセンター  
カンファレンス

⑱ モビリティプロデューサーの  
要件検討・育成プログラム構築

- レビュー
- 要件検討
- プログラム作成

● カンファレンスの開催

- 国内・海外

モビリティ  
プロデューサー  
育成

ナラティブアプローチ

地域のアクターとして  
外部からは見えないノウハウやプロセスを物語化し蓄積・活用する



# ⑫リ・デザインに資する車両、インフラ等の要件抽出

自動走行・グリスロの  
実証運行  
【国内3フィールド】  
※いずれも **地方部** を対象



(1) 車両要件・インフラ要件の検討



(2) ビジネスモデルの検討



北海道当別町

青森県十和田市

広島県庄原市



モデル	価値	形式	アプローチ
P to B	送客	協賛金・都市交通税 ネーミングライツ	効果周知
P to N	暮らしやすさ	募金・玉垣料 ・公共交通基本料金	理解促進
P to U	移動手段	運賃	利用促進
P to V	移動手段	募金・玉垣料・運賃 ・入域料	利用促進
P to G	地域の持続性	補助金・赤字補填	理解促進。

# ⑫リ・デザインに資する車両、インフラ等の要件抽出

自動走行・グリスロの  
実証運行

【国内3フィールド】

※いずれも **地方部** を対象

▶ (1) 車両要件・インフラ要件の検討

▶ (2) ビジネスモデルの検討



## ●連携させていただきたい事項

- 1) 多様な地域特性を対象に検討を進めていくために**地方部以外(都市部等)のフィールド**連携させていただきたい。
- 2) ビジネスモデル検討にあたって**他のフィールドとの調査連携**(実証運行のwith/without調査)をさせていただきたい。

広島県



P to U	移動手段	運賃	利用促進
P to V	移動手段	募金・玉垣料・運賃 ・入域料	利用促進
P to G	地域の持続性	補助金・赤字補填	理解促進。

# ⑬自動運転バスの社会的受容計測の標準指標提案

注：自動運転試乗モニタは事前事後を回答，地域住民は事前のみ回答することを想定

凡例：ああああ：その町・地域の自動運転システムの呼称を挿入

いはいい：SHOW 指定の共通設問

事前調査

## 自動運転サービスに関するアンケートのお願い

EU  
SHOWとの  
共通設問

〇〇〇〇主催

自動運転サービスの認識と受容について、自動運転バス試乗前、試乗後アンケートを実施しております。つきましては大変お手数おかけしますが、アンケートにご協力をお願い申し上げます。

※ご記入いただいた個人情報及びご意見は個人が特定されない形で統計的に処理し、

SHOW との共有もしくは学術研究として報告する可能性があります。

SHOW: 欧州委員会 HORIZON 2020 傘下「レベル 4 モビリティサービスの実現を目指すプ

スマホでも  
回答できます！

ドライバー・  
歩行者の立場で  
自動運転バスへの  
態度・行動意図  
を問う

下記の質問にお答えください。

生年月日:(西暦) 年 月 日、お住いの郵便番号:( )

※上記の情報は試乗前と試乗後のアンケートを紐づ

(1) 次の交通手段を使った事がありますか？	
(1-1) 自動運転の電車 (ゆりかもめ等)	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/>
(1-2) 自動運転バス	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/>
(1-3) 個人所有の自動運転車	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/>
(1-4) その他の自動運転車 (タクシー、ライドシェアリング等)	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/>
(2) あなたの自動車運転頻度をお答えください (年・月・週のいずれか1つを選んで 運転日数を回答)	週 _____ 日くらい 月 _____ 日くらい 年 _____ 日くらい

- (7-4) 自動運転バスを見かけたら、  
ちょっと「うれしい」と思う。
- (7-5) 自動運転バスを見かけたら、  
「運が悪かった」と思う。
- (7-6) 自動運転バスがゆっくり走るのは、  
「しかたない」と思う。
- (7-7) 自動運転バスを見守ろうと思う。
- (7-8) 自動運転バスが走る路線では、  
路上駐車を控えようと思う。
- (7-9) 自動運転バスがきたら、道をゆずろう  
と思う。
- (7-10) クルマやバス・バイクに乗っていて、自動  
運転バスがいたら「追い抜きたい」と思う。
- (7-11) 自動運転バスを町民(住民)として誇りに  
思う。

# ⑬自動運転バスの社会的受容計測の標準指標提案

注：自動運転試乗モニタは事前事後を回答，地域住民は事前のみ回答することを想定

凡例：ああああ：その町・地域の自動運転システムの呼称を挿入

いはいい：SHOW 指定の共通設問

事前調査

ドライバー・歩行者の立場で自動運転バスへの態度・行動意図を問う

EU SHOWとの共通設問

自動運転サービスに関するアンケートのお願い

〇〇〇〇主催

自動運転サービスの認識と受容について、自動運転バス試乗前、試乗後アンケートを実施しております。つきましては大変お手数おかけしますが、アンケートにご協力をお願い申し上げます。

スマホでも

※ご記入いただいた

SHOW との

SHOW: 欧州

下記の質問

生年月日:

(1) 次の交

(1-1)

(1-2)

(1-3)

(1-4)

(2) あなたの

い (年・月

運転日数を回答)

月\_\_\_\_日くらい

年\_\_\_\_日くらい

(7-10) 自動運転バスがいたら「追い抜きたい」と思う。

(7-11) 自動運転バスを町民(住民)として誇りに

思う。

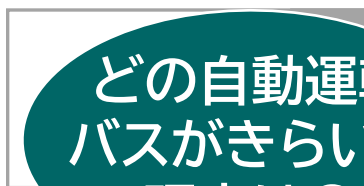
## ●連携させていただきたい事項

- 1) 他コンソでの**効果計測指標**(アンケート調査票など)を共有いただき、標準化に向けた議論を行いたい
- 2) その上で、標準的な指標を提案いたします
- 3) その指標を他コンソの**効果計測**に活用いただきたい
- 4) 可能な範囲で**データ**を共有いただきたい
- 5) 指標の**ブラッシュアップ**、**効果のメタ分析**を実施したい

# ⑬ 自動運転バスのエクステリア要件の検討

## ■インタビュー調査

どの自動運転バスが好き？  
理由は？



どの自動運転バスがきれい？  
理由は？

インタビューであたりをつけた上で

## ■WEBアンケート調査

0. ニュートラル 1. かわいい 2. 弱い

3. カッコいい(速い) 4. 近々(強い)

このバスが  
スタックしてるのを  
許せる？

■車両メーカー、ソフト開発会社へのヒアリング調査 : コストや難易度を把握

自動運転バスのエクステリア要件提案

■コンペ開催 : 具体のイメージ例を提示

すべてのプロセスをエピソードとして記録・物語化し、MKセンターに蓄積・共有



- ⑮地域モビリティ資源のサービス実装に向けた地域・モビリティ・ビジネス・データコミュニティ形成
- ⑰地域モビリティ資源を生かした地域の類型化・特定に向けた実践的調査（アクションリサーチ）、普及展開活動
- ⑲サービスの社会実装に向けた人材育成

⑮ 地域モビリティ資源のサービス実装に向けた  
地域・モビリティ・ビジネス・データコミュニティ形成

“場”

⑰ 地域モビリティ資源を生かした地域の類型化・特定に  
向けた実践的調査（アクションリサーチ）、普及展開活動

“実践・記録・共有”

⑲ サービスの社会実装に向けた人材育成

“ヒト”

# モビリティナレッジセンター(夢)

凡例

資料系

ニュース系

読み物系

ツール系

育成系

双方向系

事例・物語の蓄積・共有  
その内容に関する質問コーナー

全体の  
見取り図

書籍・参考文献  
リスト



関連機関の  
リンク集

地域モビリティ  
ガイドラインと  
その更新・拡充

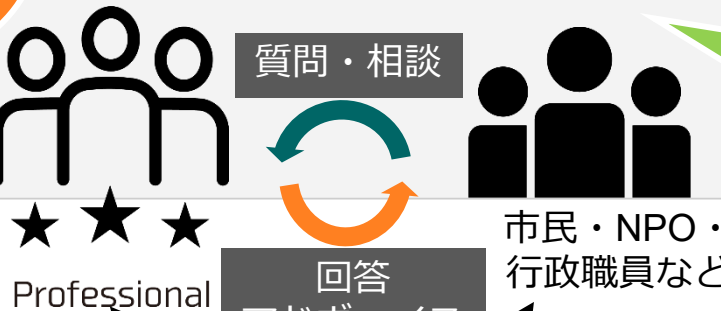
困りごと  
Helpコーナー  
投げ銭 token 仮想通貨  
会員限定サービス?

イベントの告知  
参加申し込みサイト?

地域モビリティ  
エピソード  
短編漫画

交通事業者・  
コンサルのPR  
ビジネス・エッセイ連載

地域モビリティ  
ワールドニュース  
AIで自動抽出?



人材育成  
プログラム  
e-Learning

地域交通  
ツール集  
動機付け冊子, 動画

MPの素顔  
紹介ページ

【コーディネータ】  
相談内容に応じて, 対応する  
専門家を指定・対応依頼



# モビリティナレッジセンター(夢)

凡例

資料系

ニュース系

読み物系

ツール系

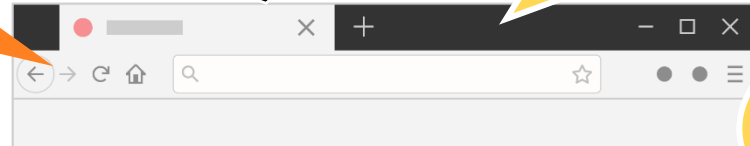
育成系

双方向系

事例・物語の蓄積・共有  
その内容に関する質問コーナー

全体の  
見取り図

書籍・参考文献  
リスト



関連機関の  
連携

●連携させていただきたい事項

- 1) 魅力的なコンテンツがあればご教示いただきたい
- 2) 事例・物語・イベント・エッセイ等, SIP成果を掲載させていただきたい
- 3) 情報の更新作業にご協力いただきたい

地域モビリティ  
ガイドブック  
その更新

地域モビリティ  
エピソード  
短編集

地域モビリティ  
ワールドニュース  
AIで自動抽出?

地域交通  
ツール集  
動機付け冊子, 動画

Professional

回答  
アドバイス

行政職員など

評価・の報告  
要望

対応依頼



【コーディネータ】  
相談内容に応じて, 対応する  
専門家を指定・対応依頼

人材育成  
プログラム  
e-Learning

MPの素顔  
紹介ページ

の告知  
サイト?

# スマートモビリティ導入のためのガイドライン

地域モビリティ活用の  
既往事例調査

類型分類ごとの  
SWOT分析

北海道当別町  
青森県奥入瀬地域  
広島県庄原市  
など

地域モビリティ資源  
を生かした地域の  
類型化

スマートモビリティ  
サービス導入のための  
アクションリサーチ

類型化指標設定の  
ためのインタビュー  
アンケート

ステークホルダー  
の関係性変化  
を詳述

スマートモビリティ導入のための  
ガイドライン作成と普及展開活動

実践をしながら  
ガイドラインを  
アップデート

マネジメントプロセス  
の規定

# スマートモビリティ導入のためのガイドライン

地域モビリティ活用の  
既往事例調査

類型分類ごとの  
SWOT分析

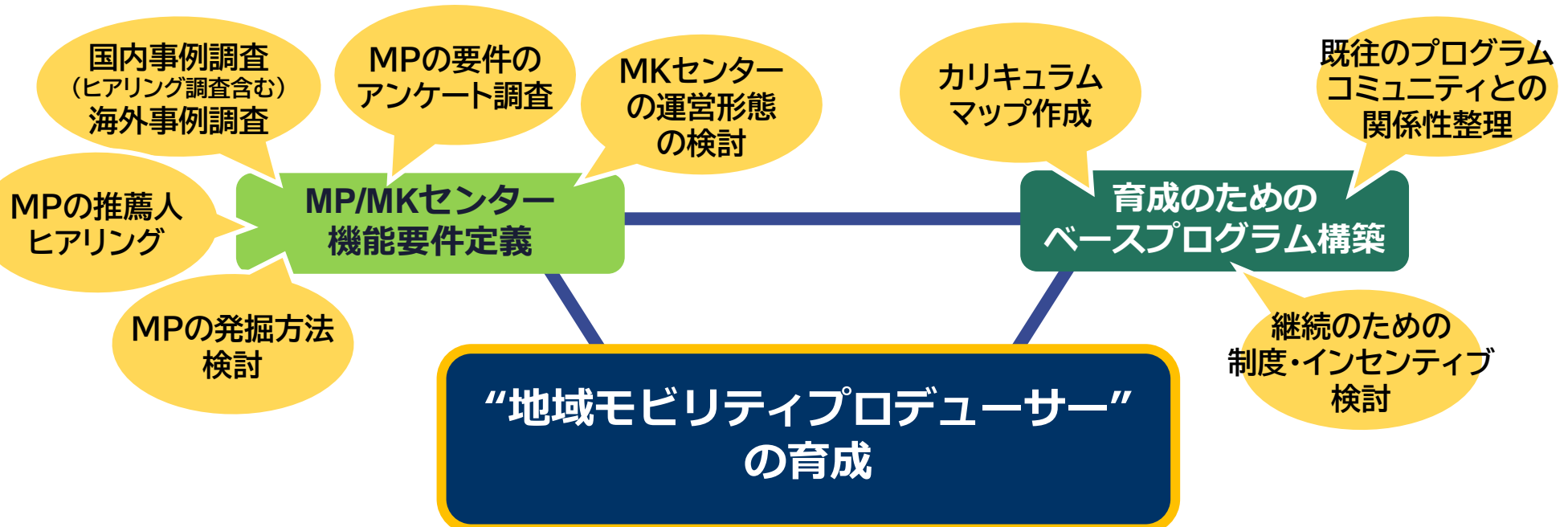
北海道当別町  
青森県奥入瀬地域  
広島県庄原市  
など

類型化  
ための  
ア

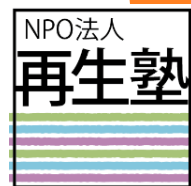
## ●連携させていただきたい事項

- 1) 地域モビリティ資源を生かした**地域の類型化**にご協力をいただきたい。
- 2) 特に**都市部等の他の実証フィールド**と連携させていただきたい。
- 3) ガイドライン反映のために、それぞれの**プロジェクトの実施上の重要なポイント**について、**情報提供や知見**を頂戴したい。

# 人材育成



MP:地域モビリティ・プロデューサー  
MK:センター:モビリティナレッジセンター



etc...

**“モビリティカンファレンス”  
開催**  
既存の組織・会議体と  
ゆるやかに連携



国土交通省  
主催のさまざまなセミナー



# 人材育成

国内事例調査  
(ヒアリング調査含む)  
海外事例調査

MPの要件の  
アンケート調査

MKセンター  
の運営形態  
の検討

カリキュラム  
マップ作成

既往のプログラム  
コミュニティとの  
関係性整理

MPの推薦人  
ヒアリング

MP/MKセンター

育成のための

## ●連携させていただきたい事項

- 1)他のコンソ関係者にもモビリティ・カンファレンスに**参加**していただきたい。
- 2)他プロジェクトメンバーも地域モビリティ・プロデューサーの**選定対象**とさせていただきたい。
- 3)他の**カンファレンス**や**研修事業**とも**連携**させていただきたい。

MP:地域モ  
MK:センター

カンファレンス”

開催

既存の組織・会議体と  
ゆるやかに連携



etc...

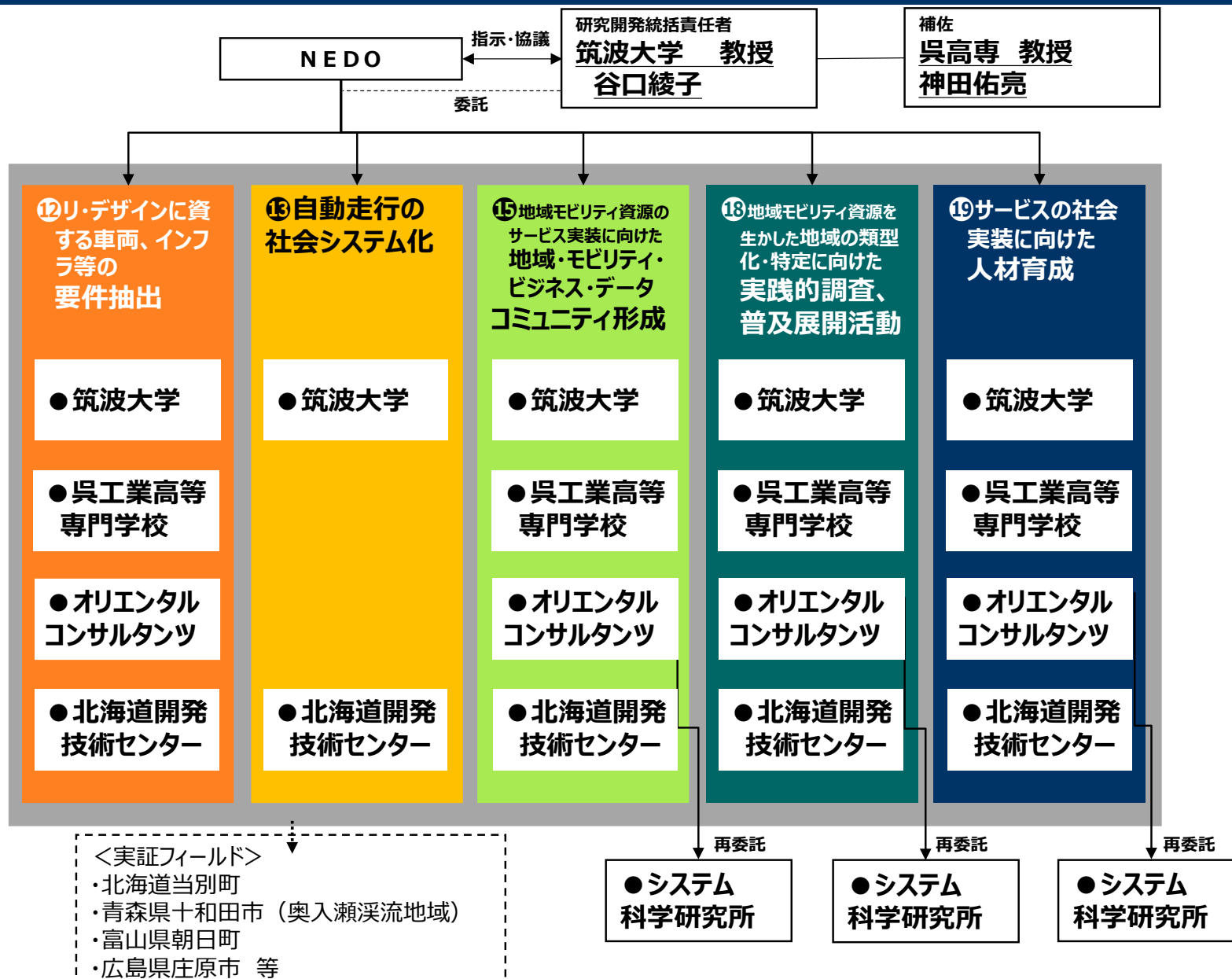


国土交通省

主催のさまざまなセミナー



# 実施体制



⑬で挙げた「自動運転システムの社会的受容の統一指標」をEUのSHOWと連携して提案したい

## SHOW

**SH**ared automation **O**perating models for **W**orldwide adoption

※SHOWプロジェクト:

欧州委員会の推進するHorizon 2020プロジェクト傘下で、自動運転の社会実装を目的とした欧州最大規模のプロジェクト。

<https://show-project.eu/>